

教科の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による4つの領域の言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点

- ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションをしているか。
- ・授業を通して身につけた英語を、場面に応じて的確に理解し、表現できたか。
- ・言語や文化への知識や理解は高まったか。

評価の方法

- ・授業中の態度や参加の様子
- ・帯活動(やりとり)の状況、パフォーマンステスト
- ・定期テスト、教師による観察、小テスト、ノート・ワーク・課題の提出、等

特色ある学習方法

- ・生徒一人一人が積極的に、かつ意欲的に学習に取り組めるような教材・教具を用意する。(やり取りや表現活動の工夫)
- ・ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫をする。
- ・ALTとの共同作業により英語教室の掲示などを工夫し、英語に対して広く関心を持たせる工夫をする。

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ There is (are)~.の文の復習 ○ 過去形や過去進行形の復習 ○ be 動詞の活用理解 ・ be 動詞を用いた文章の作成 ・ be going to や助動詞 will の文章の理解 ○ 5文型の理解(特に SVOO, SVOC) ○ 接続詞の if 節、that 節、when 節、because 節を用いた文の理解とその運用 ○ May I ...? / Could you ...? の文の運用 ○ 不定詞の理解と運用 ・ 名詞的用法、副詞的(目的・原因)用法、形容詞的用法 ・ It is ~ to ~.の文の理解と運用 ○ 既習事項の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is (are) の文の理解を深めることができる。 ・ 過去形や過去進行形の理解を深めることができる。 ・ be going to や助動詞 will の意味・用法を理解し、表現できる。 ・ おおまかに5つの基本文型が理解できる。 ・ 接続詞の if 節、that 節、when 節、because 節をよく理解し、自分のことや身の回り事を表現できる。 ・ 丁寧に許可を求めたり、依頼することができる。 ・ 不定詞の3つの用法の特徴と違いを理解し、場面に合った表現ができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ have to / must の理解 ・ don't have to と must not の違いを理解し表現する。 ○ will の理解と運用 ○ 動名詞(目的語・主語)の理解と運用 ○ 疑問詞 + to (不定詞)、主語 + 動詞 + (人) + 疑問詞 + to の文の理解と運用 ○ 主語 + be 動詞 + 形容詞 + that の文の理解と運用 ○ Could you tell me how to get to ~ の文の理解と運用 ○ 比較表現(比較級・最上級)の理解と運用 ○ Shall I ~? の文の理解と運用 ○ 既習事項の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ have to と must、don't have to と must not の違いを理解し、表現できる。 ・ will の意味・用法を理解し、表現できる。 ・ 動名詞を目的語や主語とする文の形意味用法を理解し、表現できる。 ・ 疑問詞 + to (不定詞)、主語 + 動詞 + (人) + 疑問詞 + to、主語 + be 動詞 + 形容詞 + that の文を理解し運用できる。 ・ Could you tell me how to get to ~ の文を理解し、場面に応じて表現できる。 ・ 比較表現全般を理解し、運用できる。 ・ Shall I ~? の文の理解し、場面に応じて表現できる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受け身の文の理解と運用 ・ 平叙文、疑問文、by ~、助動詞 + 受け身 ○ Do you want to ~? - I'd like to, but I can't. の文の理解と運用 ○ 既習事項の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受け身の文を理解し、場面に応じて表現できる。 ・ Do you want to ~? - I'd like to, but I can't. の文を理解し、場面に合った表現ができる。

